

9 マーク

9. 1 マーク 1、2、3、4 P / 4 S は、次のとおりとする。

	A海面			B海面		
	外装色	形状	表示	外装色	形状	表示
マーク 1	薄緑色	円錐形	黒色で 1	オレンジ色	球状	なし
マーク 2	薄緑色	円錐形	黒色で 2	オレンジ色	球状	なし
マーク 3	オレンジ色	三角錐形	なし	オレンジ色	球状	なし
マーク 4 4	オレンジ色	三角錐形	なし			

9. 2 スタート・マークは、次のとおりとする。

スタート・ラインのスターボードの端となるレース委員会艇とポートの端にある「黄色の円筒形ブイ」とする。

9. 3 フィニッシュ・マークは、次のとおりとする。

フィニッシュ・ラインのポートの端となるレース委員会艇とスターボードの端にある「黄色の円筒形ブイ」とする。

9. 4 指示 1 1 に従いコースの次のレグの変更により新しいマークを用いる場合には「オレンジ色の三角錐形ブイ」を使用する。

10 スタート

10. 1 スタート・ラインは、次のとおりとする。

スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端のスタート・マークのコース側との間とする。

10. 2 スタート信号後 4 分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった (DN S)」と記録される。これは規則 A 4 を変更している。

10. 3 予告信号が発せられていないクラスの艇は、コースサイドの外側に出るとともにスタート・ラインからおおむね 5 0 m 以上離れ、予告信号が発せられたクラスの艇を避けなければならない。

10. 4 U 旗が準備信号として掲揚された場合には、スタート信号の 1 分前に、艇体、乗員または装備の一部でも、スタートラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の中にあってはならない。艇がこの規則に違反して、特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされる。ただし、レースが再スタートまたは再レース、またはスタート信号前に延期または中止された場合には、失格とされない。これは規則 2 6 を変更している。この規則が適用される場合には、規則 2 9. 1 は適用されない。これは規則 2 9. 1 を変更している。「U 旗」による失格の得点は、「UFD」と記録される。これは規則 A 1 1 を変更している。

11 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

12 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、次のとおりとする。

ポートの端にあるフィニッシュ・マーク上に**オレンジ色旗**を掲揚しているポールと、スターボードの端のフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

13 ペナルティー方式

13. 1 **規則42**の違反に対し**付則P**を適用する。

13. 2 **規則P2. 3**は適用せず、**規則P2. 2**を2回目以降のペナルティーと変更する。

14 タイムリミットと目標時間

14. 1 タイム・リミットと目標時間は次の通りとする。

種 目	マーク1のタイムリミット	目標時間
国際420級、FJ級	15分	45分
レーザー4.7	15分	45分
OP級上級者	20分	45分
OP級初級者	5分	10分

14. 2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースは中止する。目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、**規則62. 1 (a)**を変更している。

14. 3 **規則30. 3**に違反しないでスタートした先頭艇がコースを帆走してフィニッシュした後**15分以内**にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、**規則35、A4、A5**を変更している。

15 スタート後の短縮または中止

15. 1 レース委員会は**規則32**に基づく理由によるコースの短縮又はレースの中止のほか、スタート後おおよそ**60分以内**にレースが終了しそうにない場合、コースを短縮またはレースを中止することができる。この項は、**規則32. 1**を変更している。

15. 2 **指示14. 1**の時間通りにならなくても救済要求の根拠とはならない。これは**規則62. 1 (a)**を変更している。

16 抗議と救済要求

16. 1 抗議書は、陸上本部で入手できる。抗議、および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にプロテスト委員会に提出されなければならない。

16. 2 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から**60分**とする。ただし、プロテスト委員会の裁量により、この時刻を延長することがある。

16. 3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後**30分以内**に通告を掲示する。審問は管理棟2階のプロテスト・ルームにて掲示した時刻に始められる。

- 16.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 16.5 指示13.1に基づき規則42違反に対するペナルティを課せられた艇のリストを掲示する。
- 16.6 指示4.2、4.4、10.3、18、19.1、21、22、23の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、規則60.1(a)を変更している。これらの違反に対するペナルティは、プロテスト委員会が決めた場合には、失格より軽減することができる。
- 16.7 レースを行う最終日では、審問再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
(a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
(b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された後15分以内。
この項は、規則66を変更している。
- 16.8 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から15分以内に提出されなければならない。この項は、規則62.2を変更している。

17 得点

- 17.1 OP級初級者クラス以外のクラスでは、本競技会が成立するためには1レースを完了することを必要とする。天候その他の理由により、本競技会が成立しない場合でも再レースは行わない。
- 17.2 国際420級、レーザー4.7、FJ級、OP級上級者の得点は、次の通りとする。
(1) 完了したレースが5レース以下の場合、艇のシリーズの得点は、全レース得点の合計とする。
(2) 完了したレースが6レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
これは規則A2を変更している。
- 17.3 OP級初級者クラスでは、参加艇数により2ディビジョン以上に分けて予選・決勝方式でレース実施するが、決勝レースが実施できない場合には予選レースの成績により順位を決定する。
- 17.4 指示18.1~18.5の申告に関する手続きに誤りのあった艇に対し、レース委員会は審問なしに「PTP」と記録し、「確定順位+3点」の得点を記録する。ただし、その艇は、「DNF」の艇より悪い得点を与えられることはない。これは、規則63.1、A4およびA5を変更している。なお、引き続きのレースが行われた場合には、指示18.2の手続きの誤りについてはその直後のレースに、指示18.3及び18.5の手続きの誤りについてはその直前のレースにペナルティを課す。
- 17.5 参加艇数とは、8月5日(金)14:00までに受付を完了した艇の数とする。
- 17.6 クラブ対抗の順位確定は、レース公示に基づいて行う。

18 安全規定

- 18.1 出艇・帰着申告は、参加チームの責任者が、自分のチームの全競技者について取りまとめ、署名申告するものとする。

- 18. 2 出艇申告は、その日の8：00（8月5日は11：00）から当該クラスのD旗掲揚10分後までに行わなければならない。
- 18. 3 帰着申告書はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。ただし、レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。
- 18. 4 リタイアしようとする艇、及び引き続き行われるレースに出走しない艇は、速やかにレース・エリアから離れリタイアの意志を近くのレース委員会艇に伝え、帰着後直ちに参加チームの責任者が、指示18. 3の帰着申告を行った上、リタイア報告書を提出しなければならない。
- 18. 5 OP級初級者の艇には、レース委員会が配布する「各ディビジョンに色分けされた識別リボン」をスプリットトップに装着しなければならない。
- 18. 6 レース委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対しリタイアの勧告及び強制救助を行うことができる。これは艇による救済要求の根拠にはならない。この項は、規則62. 1（a）を変更している。

19 装備の交換

- 19. 1 損傷又は紛失した装備の修理又は交換は、できるだけ速やかにレース委員会の承認を得なければならない。
- 19. 2 艇又は装備は、クラス規則、レース公示、帆走指示書に従っていることを確認する為に、いつでも検査されることがある。海上では、艇は、レース委員会により検査のために指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。

20 運営艇

運営艇の標識は、下記のとおりとする。

運営艇名	表示	旗色
レース委員会の信号艇	JYU旗	青色
レース委員会艇	RC（緑色）	白色
プロテスト委員会艇	JURY（白色）	赤色
救助艇	RESCUE（赤色）	白色
連絡艇	TRANSPORTER（赤色）	緑色

21 サポートボート

- 21. 1 サポートボートは、レース公示に従い競技会参加申込時に所定の様式により、実行委員会からその使用許可を受けなければならない。
- 21. 2 使用許可を受けたサポートボートには、参加受付時に貸与されたピンク色旗を掲揚しなければならない。
- 21. 3 サポートボートの乗員数は、救助活動に備え、当該艇定員の2分の1を越えてはならない。
- 21. 4 サポートボートは、最初にスタートするクラスの予告信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期もしくは中止の信号を発した後2分間は、レース・エリアに入ってはならない。

- 2 1. 5 サポートボートは予告信号以前、引き続きレースが行われる場合は、艇がフィニッシュしてから次の予告信号が発せられるまでの間、艇がレースをしているエリアの外側で競技者への飲食物の授受支援を行ってもよい。ただしレース委員会からの要請に基づく場合を除き、その他の物品の授受や、艇の曳航等の支援行為を行ってはならない。
- 2 1. 6 サポートボートに救助活動を要請することがある。その場合には、レース委員会の信号艇に音響連続単音とともに**数字旗 8**を掲揚する。この場合には**指示 2 1. 4、2 1. 5**は適用しない。

2 2 ごみの処分

ごみは、サポートボートまたは競技会運営艇に渡してもよい。

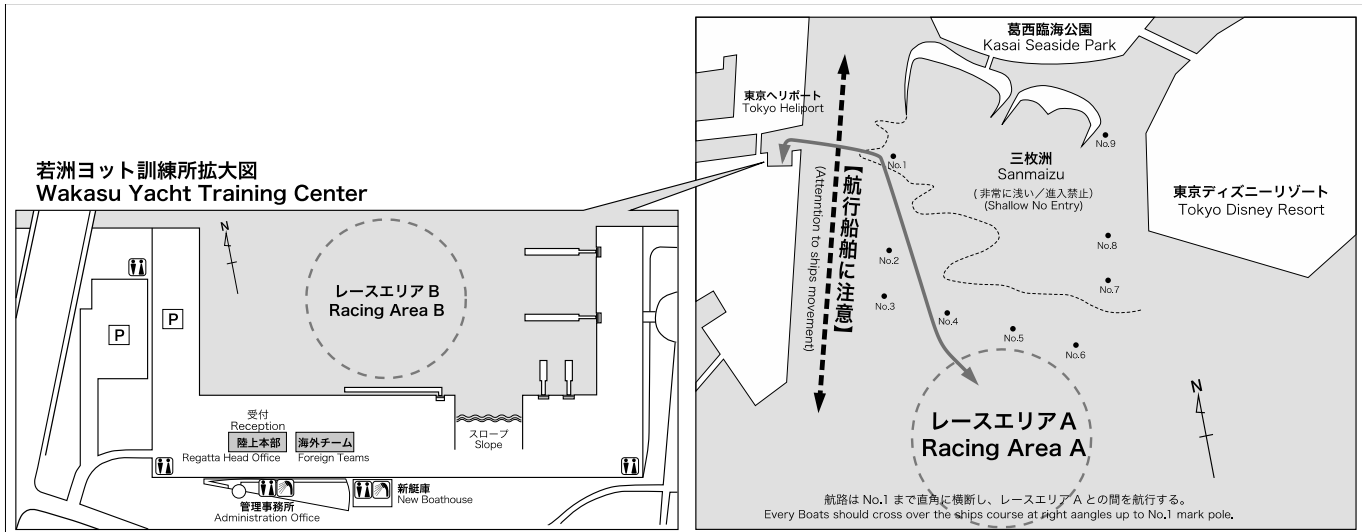
2 3 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

2 4 責任の否認

本競技会の競技者は自分自身の責任（**規則 4**「レースすることの決定」参照）において参加することが条件であることから、主催団体は、競技会の前後、期間中に生じた物的損害または身体障害もしくは死亡に対するいかなる責任も負わない。

図-1 レース・エリア Diagram - 1 Racing Areas



潮汐表(参考)

Tide Table (Reference)

8月5日(金)

August 5th (Friday)

潮時	潮位
Tidal hour	Ebb and flow
0:07	77.8cm
5:55	194.7cm
12:24	18.7cm
19:00	193.2cm

8月6日(土)

6th (Saturday)

潮時	潮位
Tidal hour	Ebb and flow
0:44	74.3cm
6:33	187.8cm
12:56	31.0cm
19:28	189.6cm

8月7日(日)

7th (Sunday)

潮時	潮位
Tidal hour	Ebb and flow
1:20	73.4cm
7:10	177.7cm
13:26	45.6cm
19:54	184.8cm

図-2 コース Diagram - 2 The courses

図-2-1-1 Diagram-2-1-1

I2 : Start⇒1⇒4p/4s⇒1⇒2⇒3⇒Finish
OP級(上級)OP Advanced Class

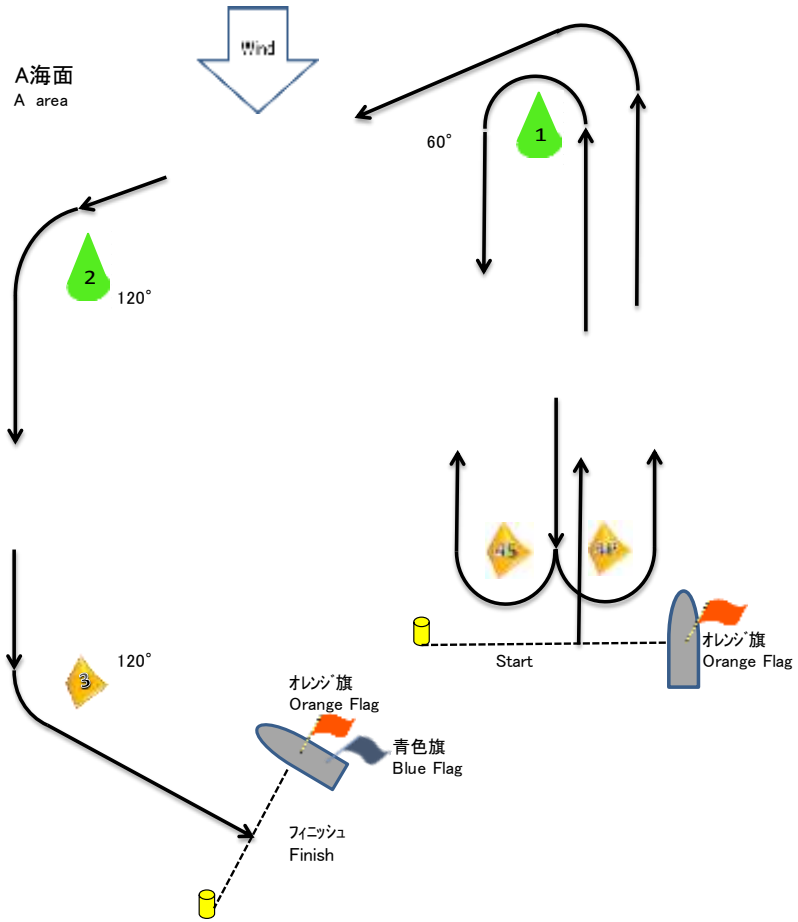


図-2-1-2 Diagram-2-1-2

O2: Start⇒1⇒2⇒3⇒2⇒3⇒Finish

レーザ[®]-4.7 Lazer 4.7 Class

O3: Start⇒1⇒2⇒3⇒2⇒3⇒2⇒3⇒Finish

国際420級 International 420 Class

FJ級 International FJ Class

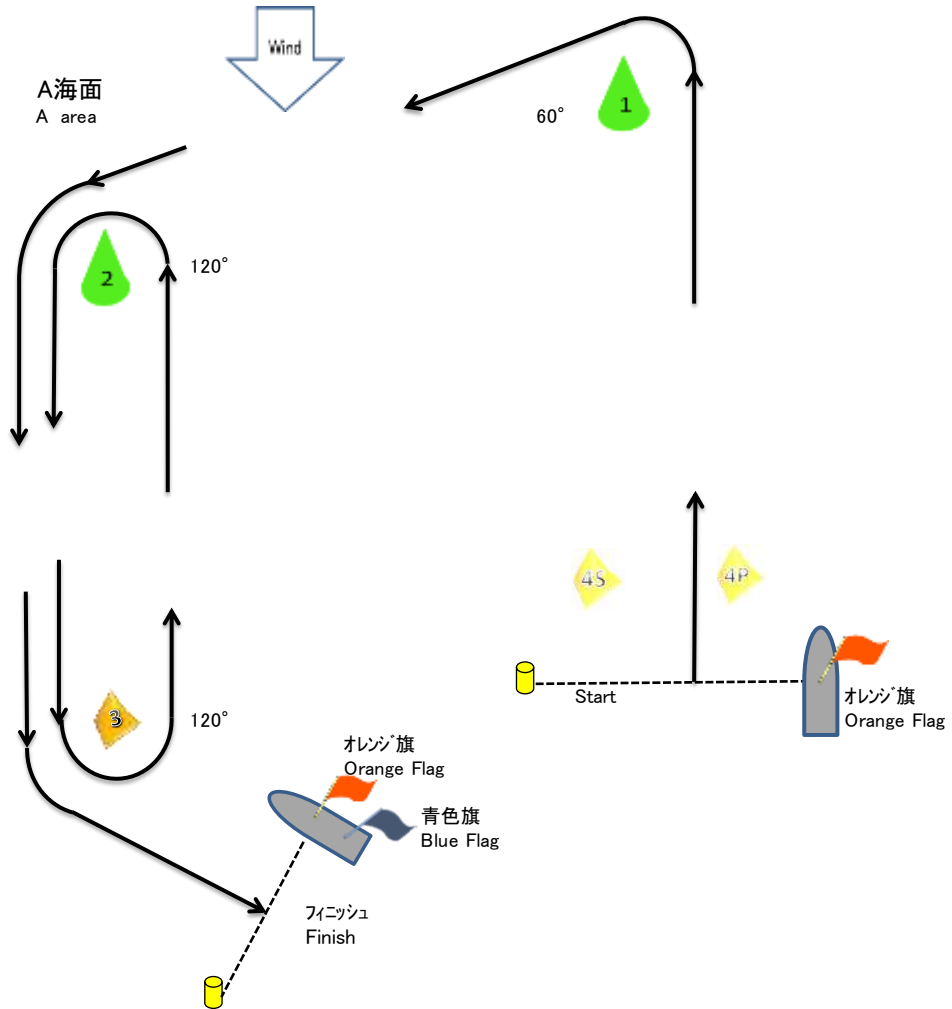


図-2-2-1 Diagram2-2-1

Start⇒1⇒3⇒1⇒Finish
OP級(初級) OP beginner Class

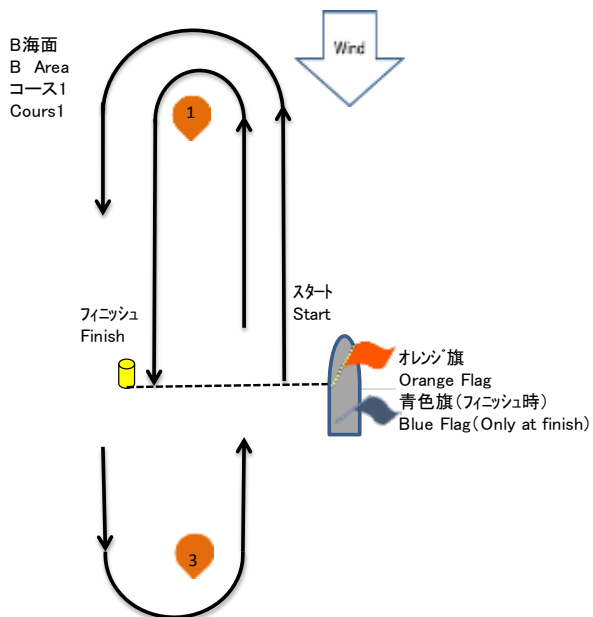


図-2-2-2 Diagram2-2-2

Start⇒1⇒2⇒3⇒1⇒Finish
OP級(初級) OP beginner Class

